

証券コード：6763

Together, we make good sense.



帝国通信工業株式会社

個人投資家向け 説明会資料

未来のNOBLEを見据えて
抵抗器のNOBLEから新生NOBLEへの深化と進化

2025年9月19日

- 1 : 帝国通信工業について
- 2 : 弊社の特長と強み
- 3 : 中期経営計画と業績
- 4 : 株主還元と主な経営指標の推移
- 5 : 事業成長のための研究開発と投資
- 6 : サステナビリティ

1：帝国通信工業について

会社概要

Together, we make good sense.

NOBLE



会社名	帝国通信工業株式会社 Teikoku Tsushin Kogyo Co., Ltd.
代表者	代表取締役社長 羽生満寿夫 (はにゅう ますお)
住所	神奈川県川崎市中原区荻宿45-1
事業内容	電子回路を制御する抵抗器やセンサ、スイッチなどの各種電子部品を「NOBLE」ブランドで国内・海外に展開している1944年に創業の総合電子部品メーカー

(2025年3月末現在)

創業

1944年

資本金

34億円

従業員数

1,729名

売上高

167億円

自己資本比率

83.0%

グループ会社数

15社

代表者よりご挨拶

Together, we make good sense.

① NOBLE

さあ、NOBLEと実現しよう。

Together, we make good sense.

① NOBLE
帝国通信工業株式会社



企業理念

『帝通は電子部品の製造とサービスを通して 世界のお客様に満足して頂ける仕事をいつも提供し続けることにより豊かな社会の実現に貢献します。』

近年、急速に変化するグローバル経済と気候変動をはじめとする社会課題への意識が高まる中、私たちは持続可能な社会の実現と企業価値向上を両立させるべく、全社一丸となって取り組んでいます。

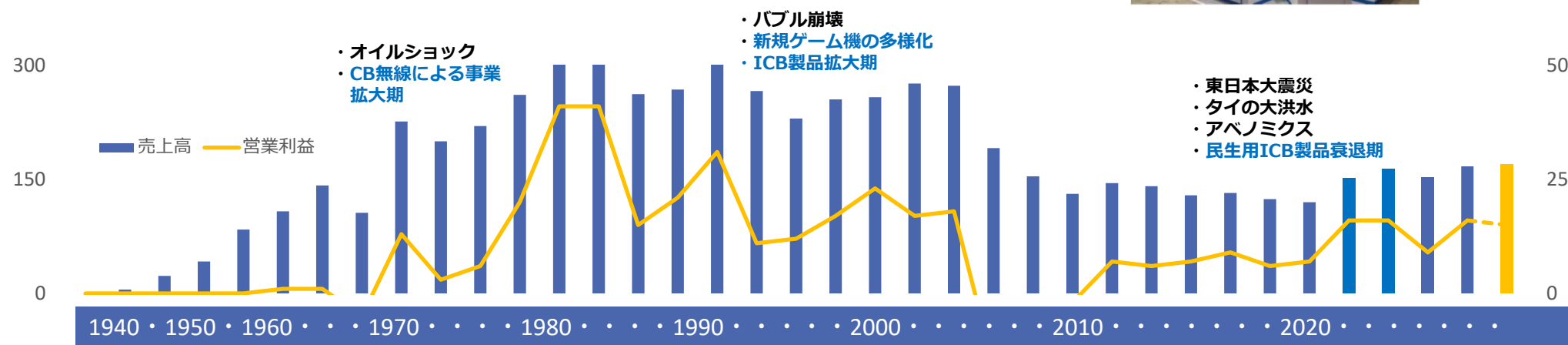
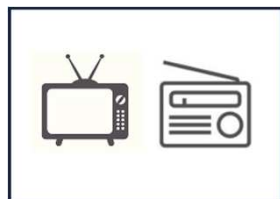
弊社は昨年、創立80周年という大きな節目を迎えました。この80周年を単なる通過点ではなく、100年企業に向けた布石として「さあ、NOBLEと実現しよう。」というスローガンのもと、新たな成長戦略を推進しています。

グループの歴史・沿革

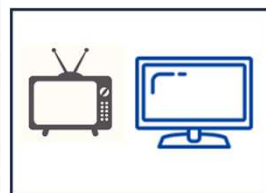
Together, we make good sense.

NOBLE

・終戦後の混乱期
戦火で2階建て事務所が焼けた跡の
正面写真



・高度成長期
・東京オリンピック
・カラーテレビ化による
需要拡大



・自動車生産台数世界一
・ファミコンブーム
・8ミリビデオ登場



・リーマンショックによる
日本の製造業構造変革期
・デジタル家電の流行
・ICB製品拡大期



・世界的なコロナ流行
・東京オリンピック
・AI活用
・関西万博

国内拠点の展開地域

Together, we make good sense.



海外拠点の展開地域

Together, we make good sense.

NOBLE



- …製造拠点
- …販売拠点

2 : 弊社の特長と強み

帝通の特長と強み① – 一貫生産

Together, we make good sense.

NOBLE

帝通の強み

幅広いニーズに応えるべく、独自のフィルム印刷と成型・プレス加工という2つの技術をコアに、設計・開発・アセンブリまで自社で一貫生産対応を基本に様々なオーダーにこたえられることが私たちの強みです。



製品設計

お客様のご要望に合わせて製品設計を行います。

金型設計

金型の設計・加工を自社で行います。

スクリーン印刷

フィルム・PCB基盤への印刷を自社で行います。

加飾・成型・プレス加工

加飾およびモールド成型、プレス加工を自社で行います。

組立加工

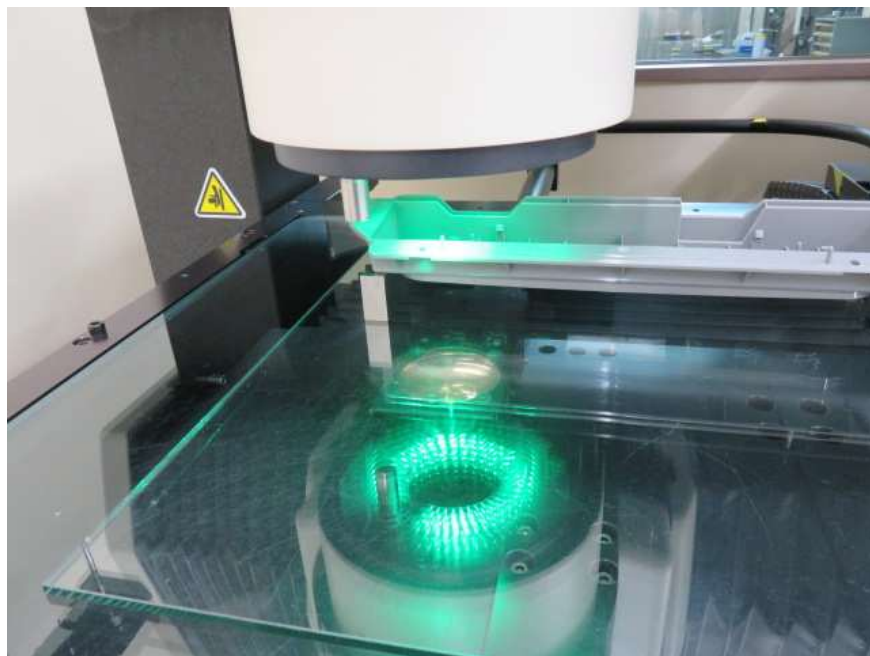
部品製作・生産設備構築をはじめ、組立加工を自社で行います。

帝通の特長と強み①－金型設計・加工

Together, we make good sense.

① NOBLE

内製化された金型 In-house produced molds



弊社では、自社で使用する成型金型およびプレス金型について、**設計から加工までの全工程を自社内で一貫して手掛けております。**また国内外に金型加工部門を保有しており、弊社独自の生産方式に最適化されたオリジナル金型の製作が可能です。これにより、**高難度な一体成型や高精度な部品加工にも対応することができます。**

帝通の特長と強み①－スクリーン印刷

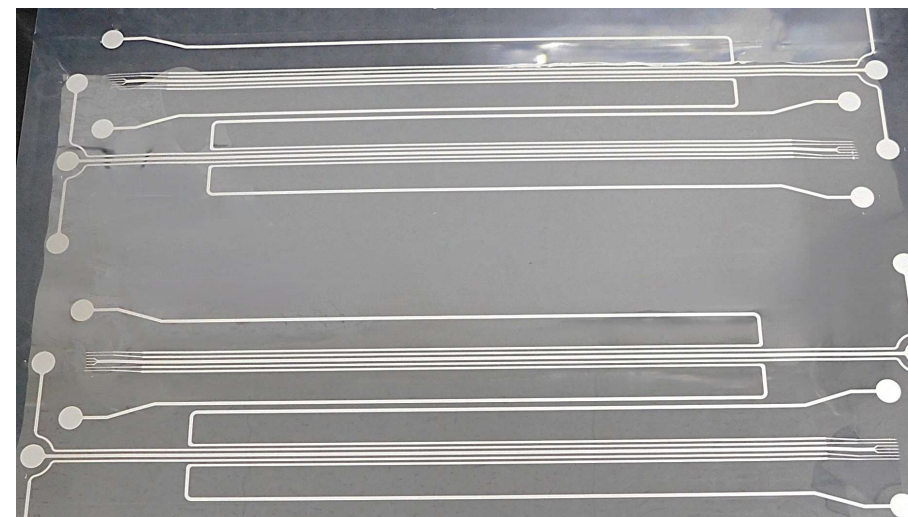
Together, we make good sense.

① NOBLE

スクリーン印刷 Screen printing



NOBLE FPC※1



弊社のスクリーン印刷技術は、PETフィルムなどの軽量・薄型素材に、電気回路のパターンを直接印刷することが可能です。これにより、より「小さく」「薄く」「軽く」が求められる電子機器向け部品のニーズに応えることができます。また、その技術と品質はお客さまから高い評価をいただいております。アミューズメント機器、カメラ、医療・ヘルスケア機器など幅広い分野で採用されています。

※1 FPC（Flexible Printed Circuits）：曲げることのできるプリント基板

帝通の特長と強み①－成型

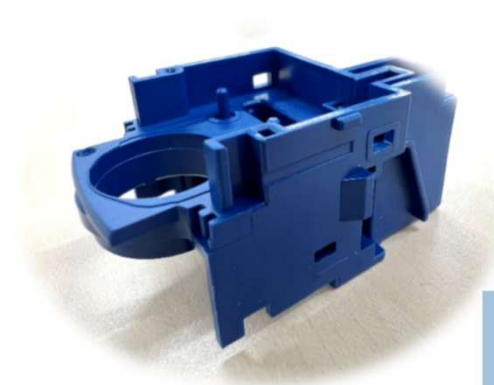
Together, we make good sense.

NOBLE

樹脂成型 Injection molding



＜国内外に各種樹脂成型機を保有＞



＜インサート成型＞

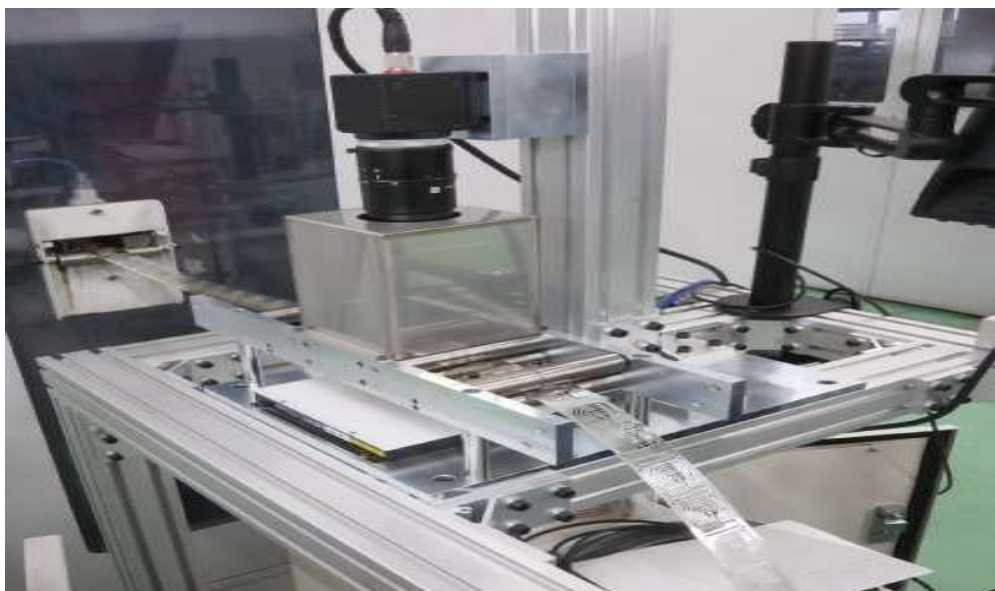
樹脂成型のための材料選定や金型設計も自社で一貫して行っているため、さまざまな市場ニーズに応じた精密機構部品や大型外装部品の生産、成型部品への塗装や加飾にも対応可能です。また、**FPCや端子を成型樹脂で一体化する独自のインサート成型技術は、お客さまから高い評価をいただいております。**

帝通の特長と強み①ープレス加工

Together, we make good sense.

① NOBLE

プレス加工 Precision Press



プレス加工は幅広い分野のお客様に向けて微細かつ高精度な加工ができるラインを保有しております。最新のプレス機、独自の設備や加工技術を活かし、安定して高品質な部品を提供できます。プレス加工で使用する金型は、生産ノウハウを織り込んだ自社設計・製作を行うことにより、多様なニーズに対応できます。

帝通の特長と強み① – 自動組立・品質保証

Together, we make good sense.



生産技術力による自動化・省人化

Automating production through production technology



弊社は**高い生産技術力による工程の自動化・省人化**を強みとしております。

弊社の自動化・省人化への取り組みは、**単なるコスト削減のためだけではなく、高品質な製品の安定供給を可能にしています。**



自動印刷機
+ 電気チェッカー

+



画像検査

+



認定検査員による検査

国内外の工場では、画像検査や電気チェッカーによる自動検査と、認定検査員による厳格な検査を組み合わせることで、**高い品質を保証**し、お客さまの信頼を得ています。

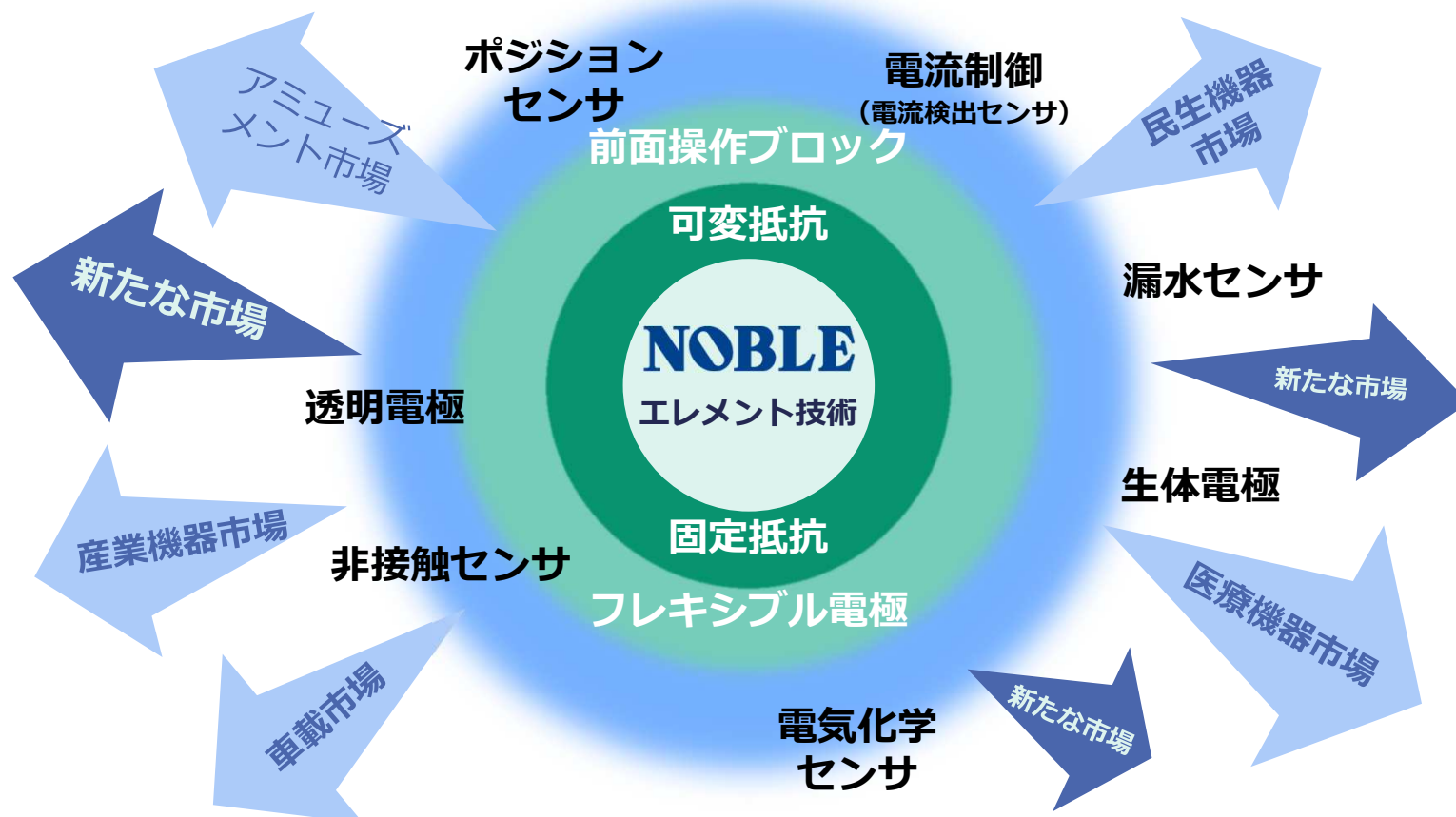
帝通の特長と強み②－エレメント技術からの市場展開

Together, we make good sense.

NOBLE

エレメント技術で 既存市場から 新市場への展開

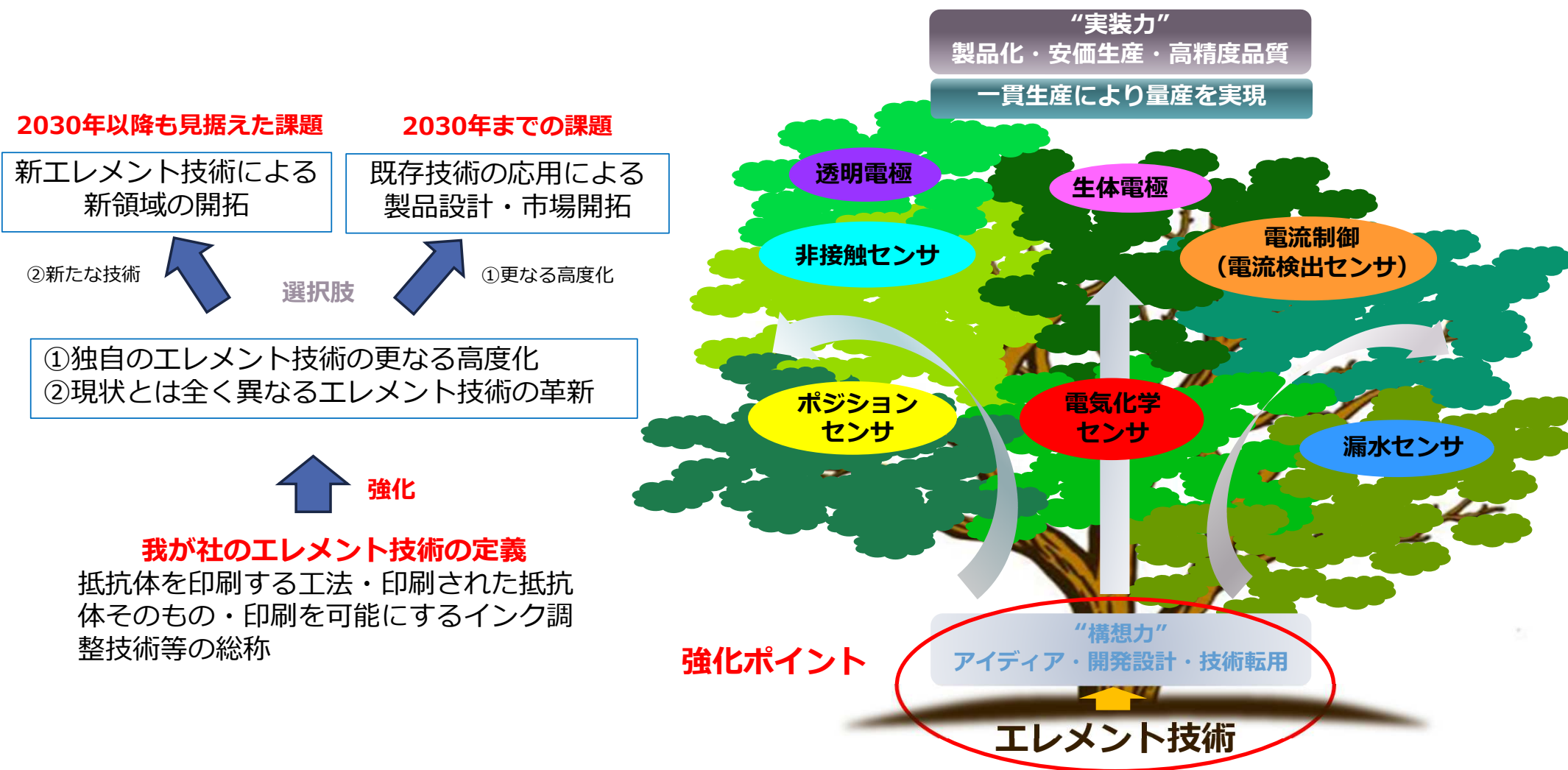
エレメント技術をベースに
80年の歴史を育む
NOBLEのセンサで
社会に貢献し続けます。



帝通の特長と強み②－エレメント技術の深化

Together, we make good sense.

NOBLE



コア技術を活かした製品展開

Together, we make good sense.

NOBLE

ICB 製品 (Integrated Control Block)



カスタムブランド

前面操作ブロックとして生産するICB製品は、当社独自のカスタムブランドです。NOBLE-FPCを中心とした集積モジュールは、各種マーケットからの独自要求に対応しております。



自動車



AV機器



アミューズメント
ホビー機器



家電機器



医療・
ヘルスケア機器



事務機器
産業機器

ディスクリート製品



汎用電子部品



可変抵抗器



センサ (抵抗式)



半固定抵抗器



エンコーダ



スイッチ



固定抵抗器

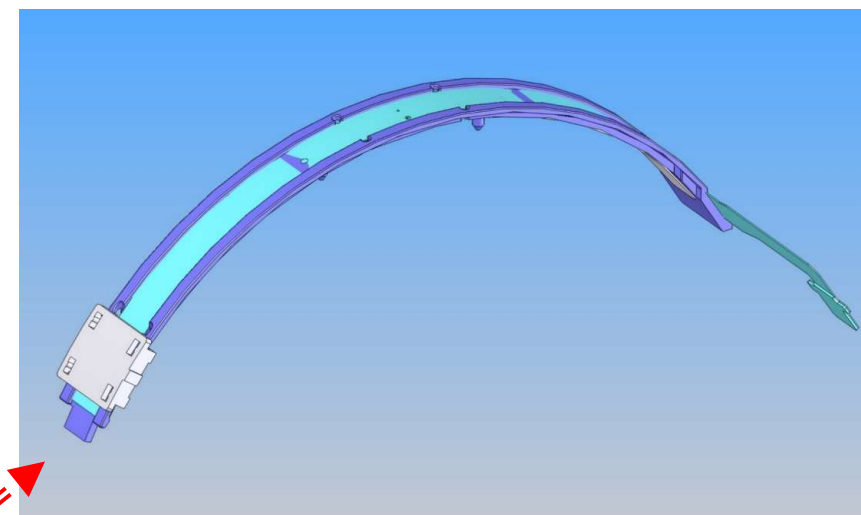
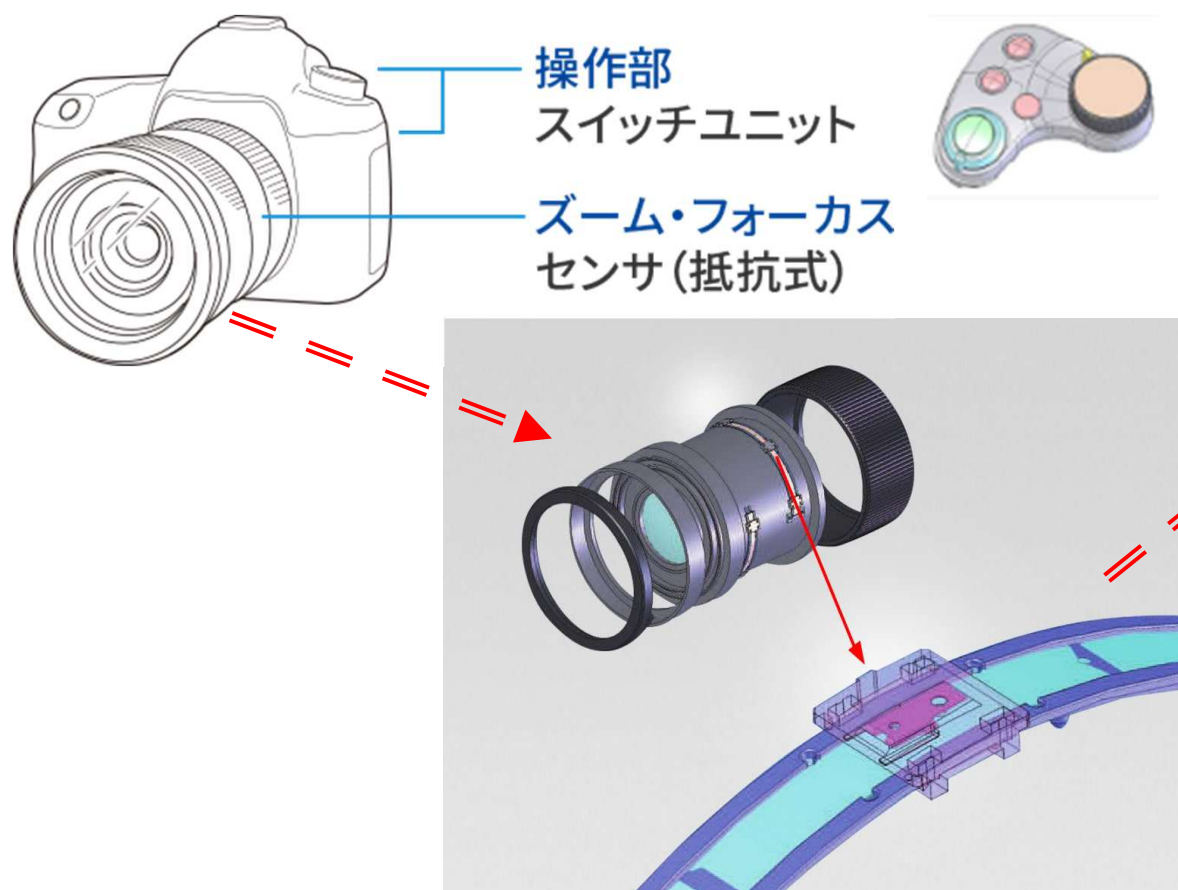


プラグ

コア技術を活かした製品展開－曲面センサ

Together, we make good sense.

NOBLE

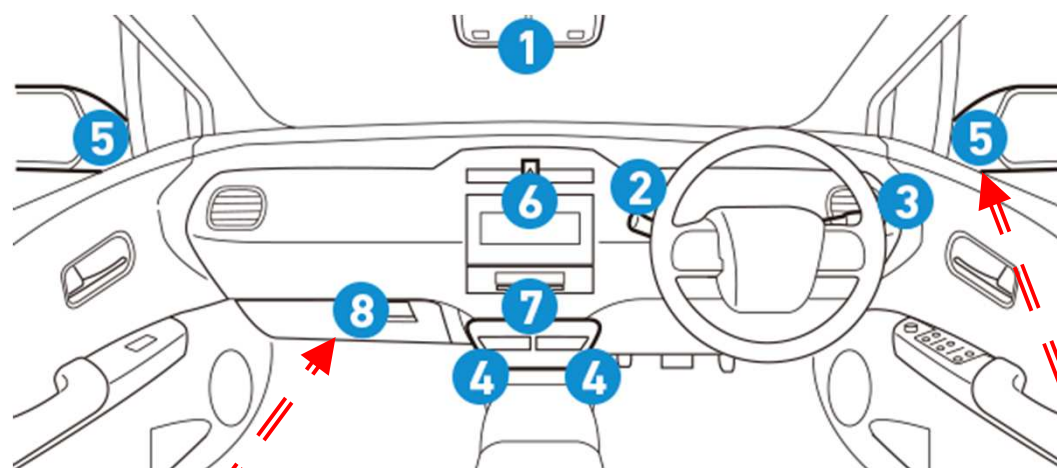


DSC※や一眼レフのレンズ部に搭載。フォーカス、ズーム、絞りなど、ユーザーの動作(回転)をダイレクトにセンシングしてカメラにフィードバックする。位置検出センサ

※DSC (Digital Still Camera) : デジタル静止画カメラ

コア技術を活かした製品展開 — 車載ドアミラー、HVAC用センサ

Together, we make good sense.



- ① マップランプ スイッチ
- ② 間欠ワイパー調整 可変抵抗器
- ③ ライトレベリング コントロールユニット
- ④ 空調シート コントロールユニット
- ⑤ ドアミラー 位置センサユニット
- ⑥ ハザードランプ スイッチ
- ⑦ エアコン 操作部ユニット
- ⑧ HVACアクチュエータ センサ基板

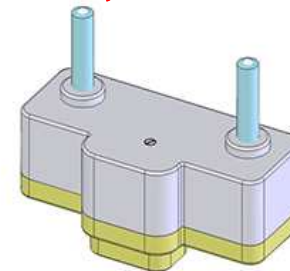


HVACアクチュエータセンサ基板

(Heating, Ventilation & Air Conditioning)

車内空調システムに使用される
エアミックスダンパーいわゆるHVACの
位置検出センサ

内/外気、温冷風ミックス等
1台あたり複数使用されている



ドアミラー位置センサユニット

ドアミラーの上下の動きと左右の動き
をそれぞれ1個、合計2個のセンサで対
応するセンサユニットを提供

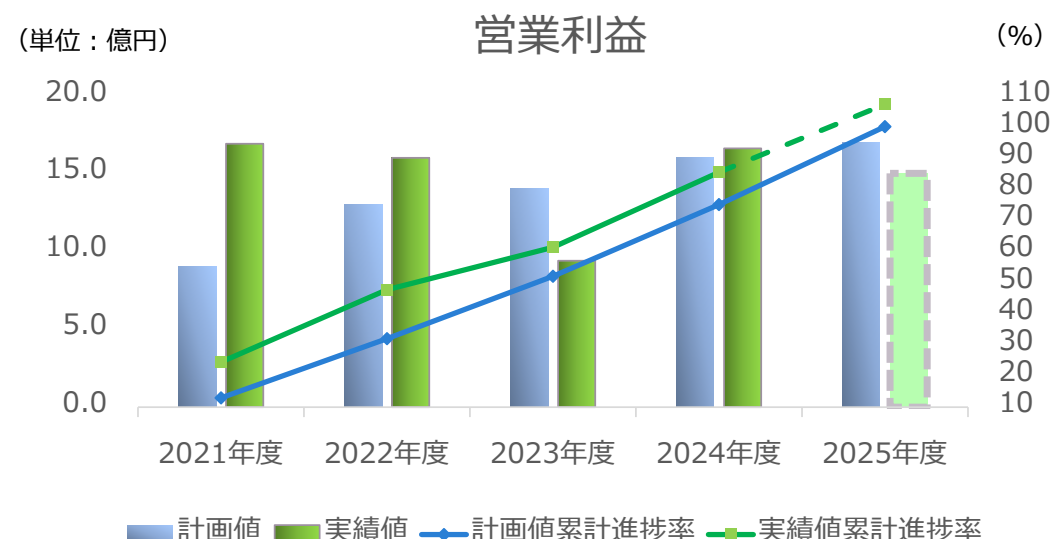
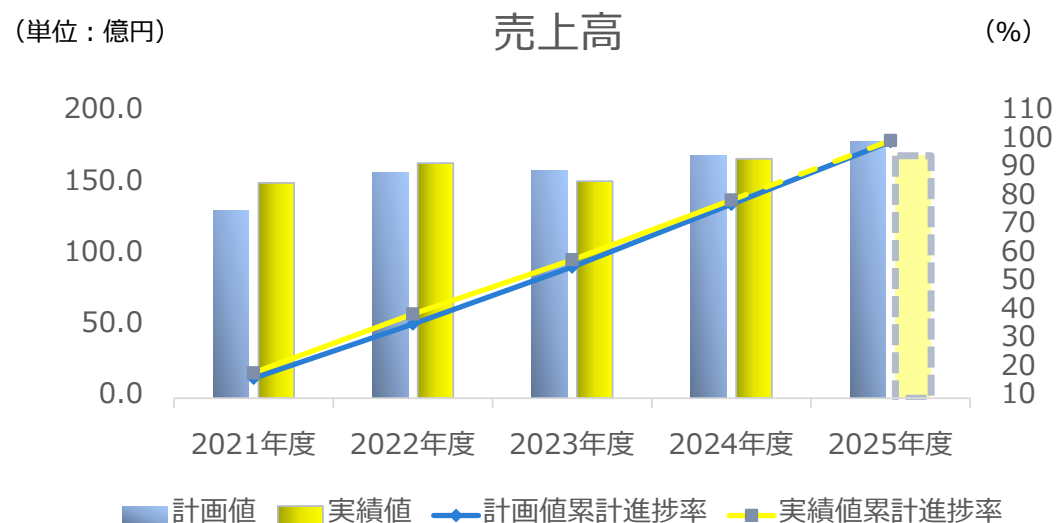
ドアミラーの位置がセンシングできる
ため、運転手別のミラーの位置を設定す
ることや、後退時に後方が見やすいよう
にミラーの位置を自動で変えるなどの機
能に役立っている

3 : 中期経営計画と業績

中期経営計画と業績 概要分析と中期経営計画達成率

修正中期経営計画に対する実績の概要分析：

- ①2021年度と2022年度はコロナ禍における特定市場の需要が旺盛であった
- ②2023年度後半から2024年度前半は特定市場の需要が低迷
- ③中期経営計画最終年度である2025年度の計画達成をもって5か年計画達成となる

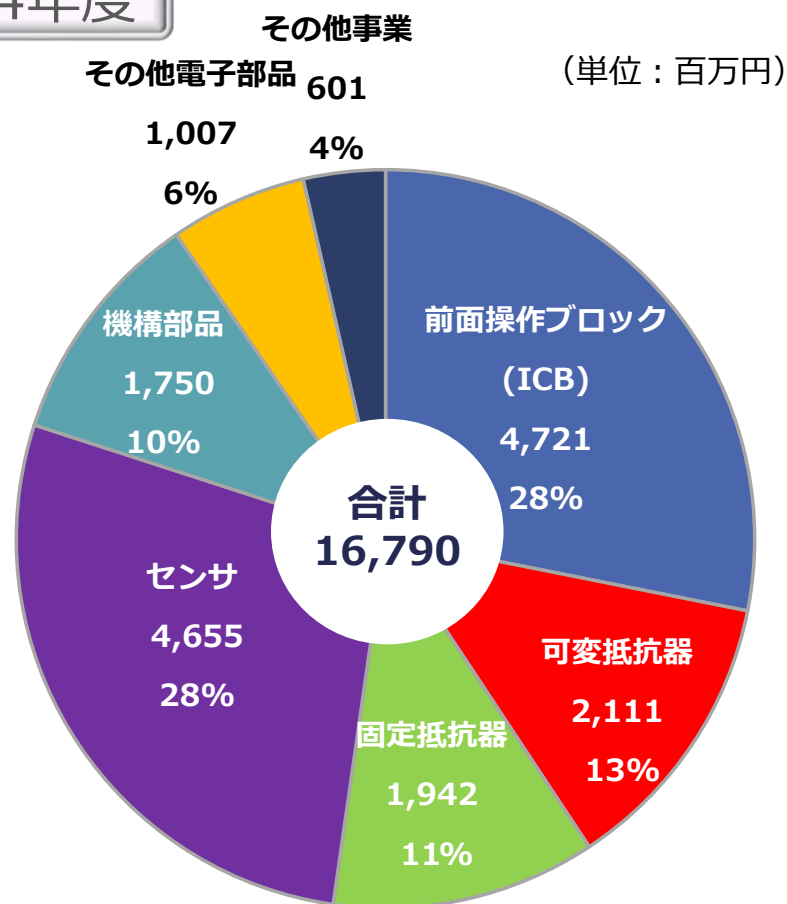


中期経営計画と業績 製品別売上高 二期比較

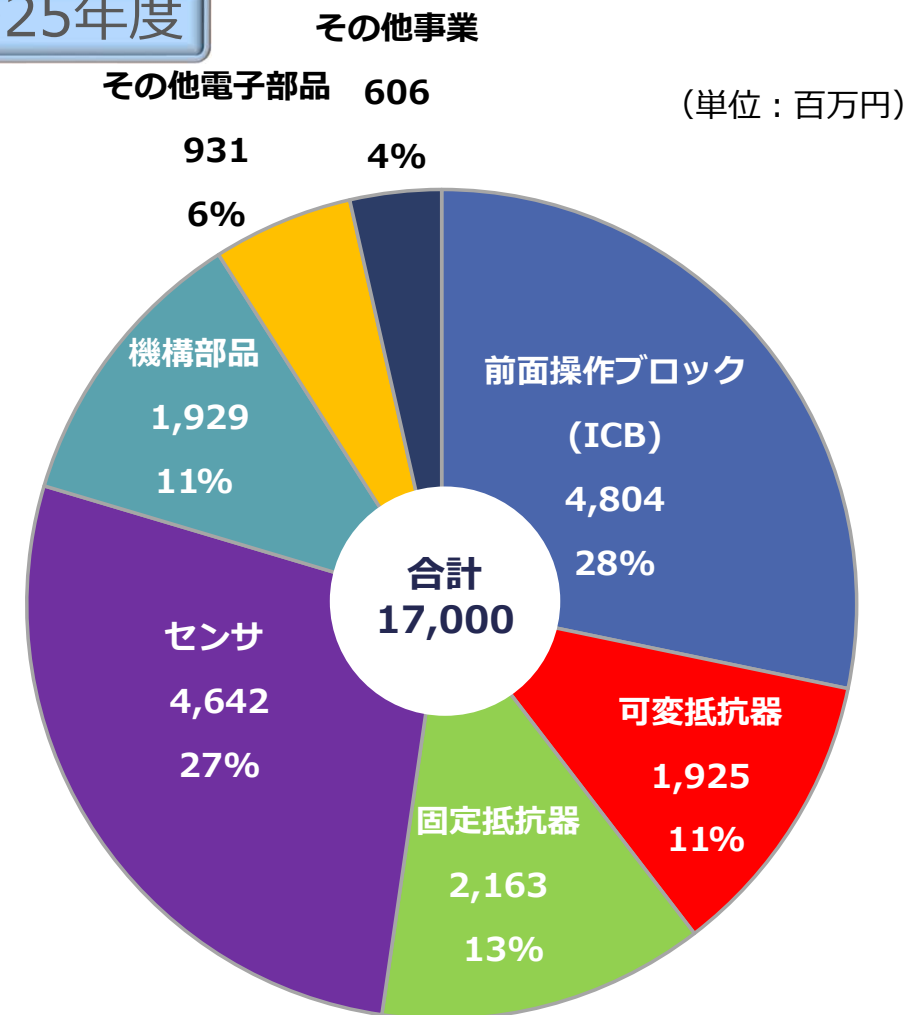
Together, we make good sense.



2024年度



2025年度



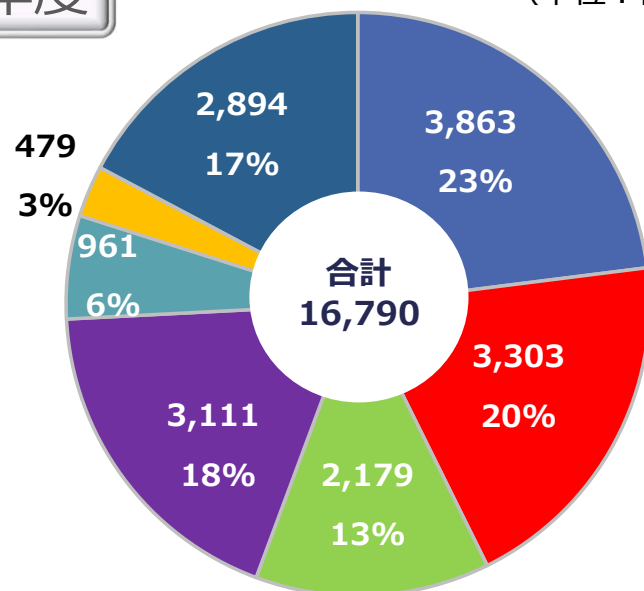
中期経営計画と業績 市場別売上高 二期比較

Together, we make good sense.



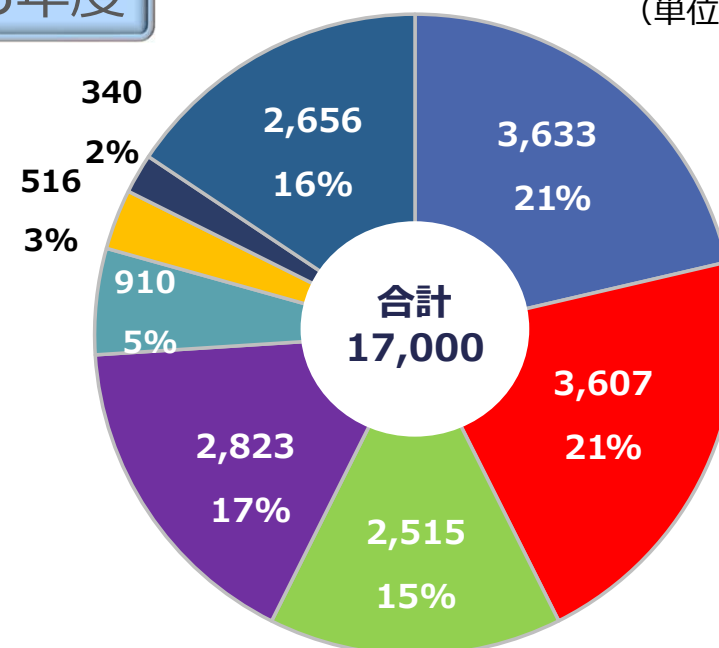
2024年度

(単位：百万円)



2025年度

(単位：百万円)



【各市場へ弊社製品を採用】

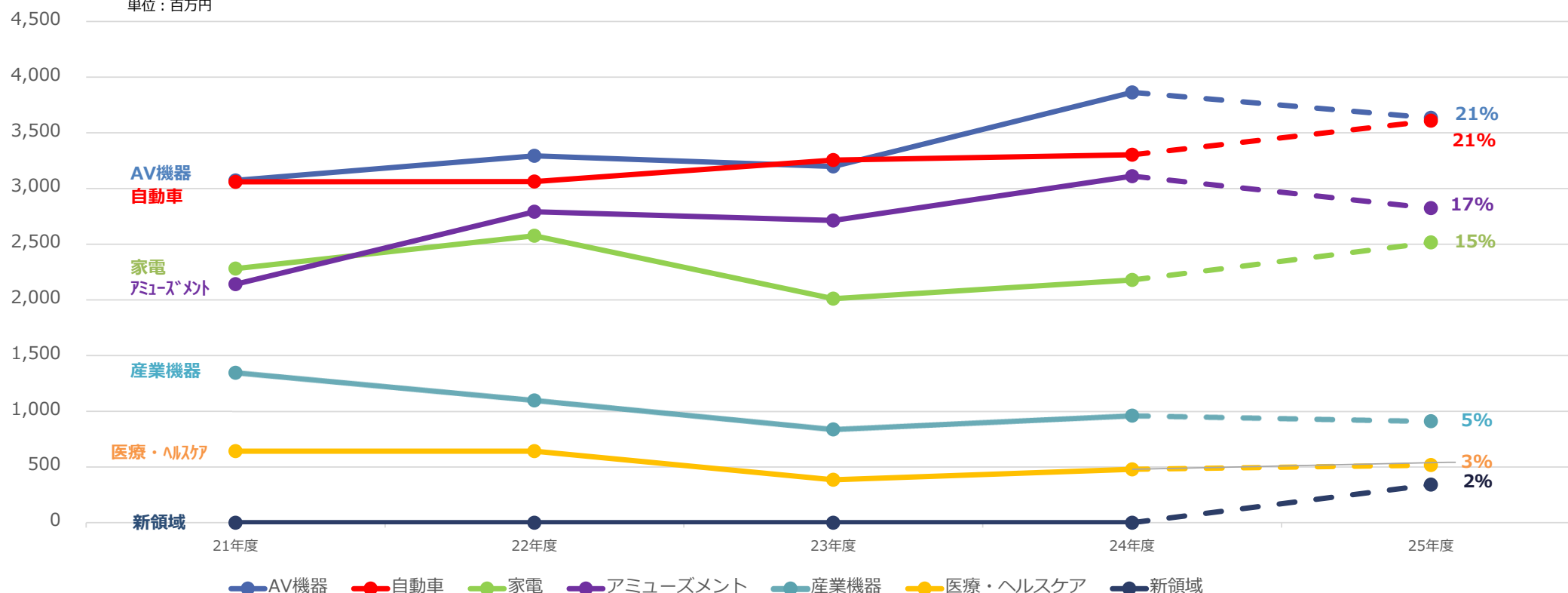
AV機器市場や家電市場においては、国内外主要メーカーとの取引をしております。
自動車市場は、ティア1を中心に取引を行っており、他市場においても、EMSメーカーをはじめ、国内外を問わず、様々なお取引様がたに、弊社製品をご採用いただいております。

中期経営計画と業績 市場別売上高 5力年推移(中期経営計画期間)

Together, we make good sense.



単位：百万円



● 2025年度までの「市場別」中期経営計画目標

- 自動車、家電、アミューズメント：連結売上高の54%を維持
- 産業機器、医療・ヘルスケア：連結売上高の17%まで拡大
- 新領域：連結売上高の5%を達成

	23年度	⇒	24年度	⇒	25年度予想
自動車、家電、アミューズメント	52%	⇒	51%	⇒	53%
産業機器、医療・ヘルスケア	8%	⇒	9%	⇒	8%
新領域	0%	⇒	0%	⇒	2%

中期経営計画と業績 25年度1Q実績と通期予想

(百万円)	24年度		25年度		前年比	
	1 Q実績	通期実績	1 Q実績	通期予想	1 Q	通期
売上高	3,626	16,790	3,976	17,000	109.6%	101.3%
営業利益	275	1,663	293	1,500	106.8%	90.2%
対売上高比	7.6%	9.9%	7.4%	8.8%		
経常利益	660	2,127	168	1,600	25.6%	75.2%
対売上高比	18.2%	12.7%	4.2%	9.4%		
親会社株主に帰属 する当期純利益	494	2,009	168	1,300	34.2%	64.7%
対売上高比	13.6%	12.0%	4.2%	7.6%		

※25年度の業績予想に用いた為替レートはUS\$ 1 = ￥140です。

4：株主還元と主な経営指標の推移

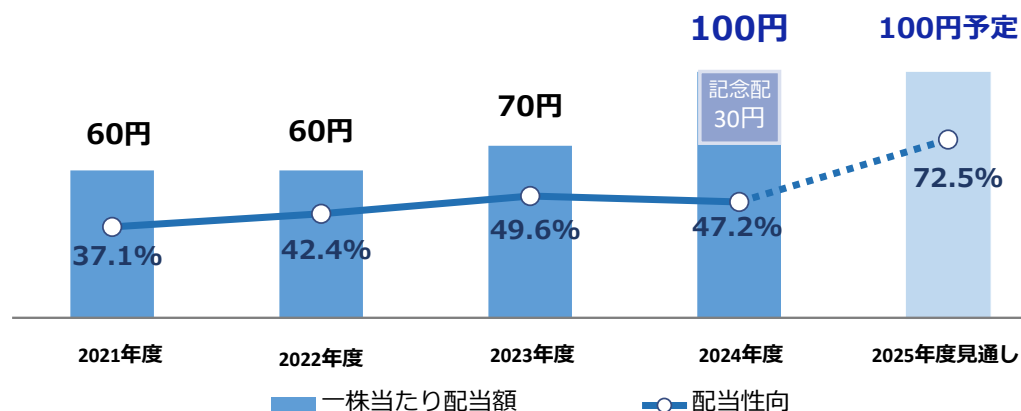
株主還元と主な経営指標の推移－株主還元

- 財務健全性や必要投資とのバランスを考慮の上、資本効率を意識した株主還元を実施

株主還元方針

配当実績

- ・ 業績に応じた配当を継続的に行うことを基本に、投資や財政状況等を総合的に勘案しながら、積極的に株主に利益還元する方針
- ・ 2024年度は当社創立80周年の年であり、普通配当70円（中間35円・期末35円）に記念配当30円を加えて、1株あたり100円（中間50円・期末50円）を実施
- ・ 2025年度においても1株あたり100円を維持予定



配当方針

次期中期経営計画期間

純資産の過度な増加を抑えるべく
次期中期経営計画にて
株主還元方針の見直しを予定

連結配当性向
50%以上目安

株主還元と主な経営指標の推移 – 主な経営指標の推移

- ・ 2023年度から3年間、自己株式の取得を行い、総還元性向は高水準を維持
- ・ 中期第3ステップ予想平均 **ROE : 6.1%・ROIC : 4.7%→ ROE : 8%以上を目指すべく更なる改善が必要**

連結ベース	過年度平均 2018年度 ～ 2020年度	中計第1ス テツプ	中計第2ステツプ			中計第3ステツプ		次期中計以降
		2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 計画		
営業利益（億円）	7.9	16.9	16.0	9.4	16.6	15.0	営業利益率 10%以上	
株主資本（億円）	204	215.5	223.0	225.2	234.2	235.0		
配当金（円）	47	60	60	70	100	100		
自己株式取得（億円）	-	-	-	5.0	3.0	5.0		
ROE(%)	2.5	6.8	5.7	5.3	7.4	4.9	8.0%以上	
ROIC(%)	2.6	5.6	5.0	2.9	5.0	4.4		
法定実効税率(%)	30.5	30.62	30.62	30.62	30.62	30.62		
DOE (%)	2.2	2.7	2.6	2.8	2.9	3.5		
配当性向 (%)	51.8	37.1	42.4	49.6	47.2	72.5		
総還元性向 (%)	51.8	37.1	42.4	83.6	55.6	107.0		

5：事業成長のための研究開発と投資

事業成長のための研究開発と投資－基本戦略

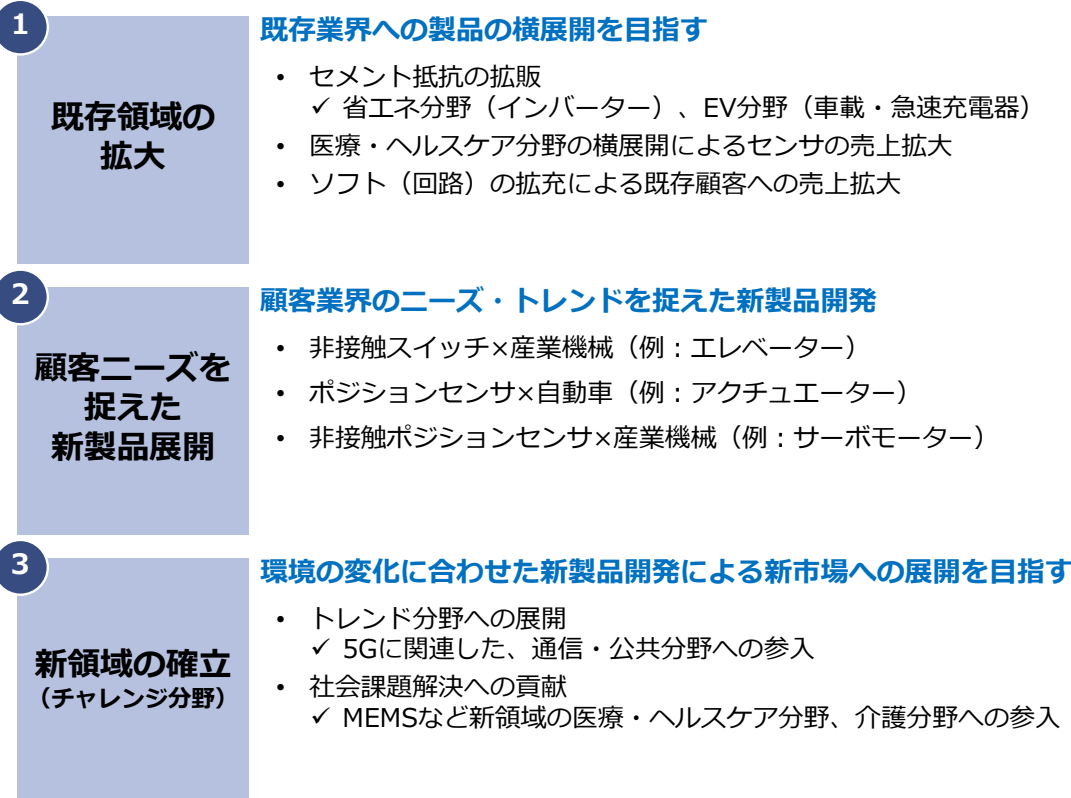
Together, we make good sense.



- 今中期経営計画では中長期的な成長に向けた、基盤構築を行うべく、既存領域の拡大・新領域の模索および研究開発の深化に注力
- 次期中期経営計画では、模索した基盤を軸にした、さらなる収益力の向上を目指す方針

中長期的な成長に向けた基本戦略

今中期経営計画での取り組み



既存領域の拡大・新領域の模索

- ・ コア技術の活用による新製品開発
✓ 非接触スイッチ等の開発
- ・ 新技術領域の構築
✓ ソフト・回路・微細加工領域の構築
- ・ 販売力、マーケット拡販の強化
✓ 新規営業・提案型営業の強化
- ・ 品質の向上
✓ 求められる品質基準への対応
- ・ 生産性・付加価値の向上

環境に配慮した要素技術開発の深化（研究開発活動の方針）

- ・ 通信関連やインフラ等の新規市場への展開
✓ スクリーン印刷技術や部品実装技術を生かしたフレキシブルなIoTデバイス等の開発
- ・ 医療・ヘルスケア分野におけるPOCT(Point of Care Testing)への注力
✓ 様々な物質測定に使用が見込まれる「電気化学センサ」の技術確立

次期中期経営計画

今中期経営計画での取り組みの強化とさらなる収益力の向上を目指す

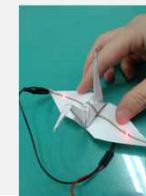
事業成長のための研究開発と投資－研究開発方針

Together, we make good sense.

NOBLE

研究開発活動の方針

▶ 環境に配慮した要素技術開発に磨きをかけ、「エレメント技術」や「ICB技術」を応用した製品開発を目指して参ります。



▶ ヒューマン・マシン・インターフェースとしての新しいデバイスの開発と、スクリーン印刷技術や部品実装技術を生かしたフレキシブルな「I.o.T」デバイス等の開発に注力し、通信関連やインフラ等の新規市場にも新たなモジュール製品を提案して参ります。



▶ 医療・ヘルスケア分野で需要が高まってきている、POCT（Point of Care Testing）で、将来的に様々な物質の測定に見込まれる「電気化学センサ」の技術確立を今後の柱の1つに育てて参ります。



生体用電極向けスクリーン印刷シートの拡充

電極用 インクの 開発

- 心電用生体電極・筋電用生体電極から、脳波測定用生体電極へ技術革新を図る
- 幼児・小児用脳波測定生体電極の開発を進める

当社脳波測定用生体電極



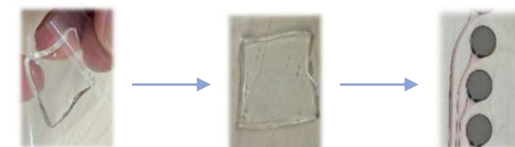
高機能 ゲルの 開発

- 汗や入浴など、水のある環境でも接着力が低下しない機能性の導電ゲルを大学と共同研究を進める

開発目標

- 生物の持つ機能を活用し、機能発現を目指す
- 装着感の向上を目指す
- ゲルを用いることでの製品における部品点数削減
- 内製化によるコスト削減
- 弊社生体電極の付加価値向上

当社製品への
電極部に塗布



株式会社ファーストスクリーニング様との共同開発



ナトリウム・カリウム比：尿中における、高血圧の原因となるナトリウムとナトリウムの排出を促すカリウムのバランスを表す指標

● 尿中ナトリウム・カリウム比測定器

- ✓ 尿中に含まれるナトリウム・カリウム比を継続的に測定することで体の状態を知ることができ、食生活改善のきっかけづくりに役立つ

簡単

スティックの先端に尿をかけるだけで測定が可能

清潔

尿をかけるスティック部分は毎回使い捨てのため、センサ本体は清潔さを保つことが可能

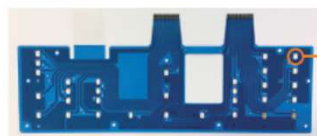
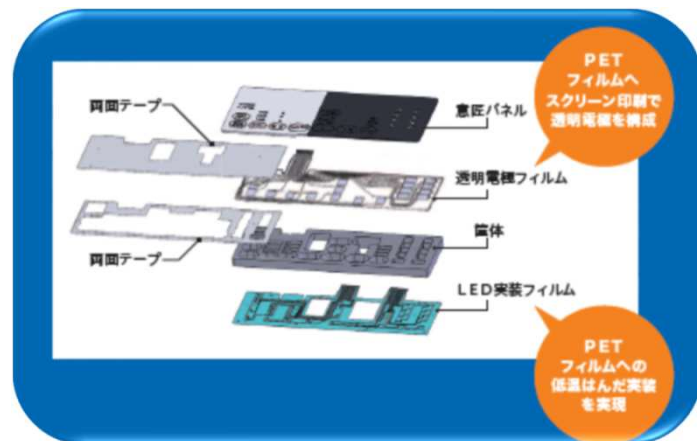
即判定

測定開始後およそ20秒で液晶表示機に結果をお知らせ

* 株式会社ファーストスクリーニング

2018年創業のスタートアップ企業。未病の早期発見を目指し、尿や唾液や血液を使った、非浸襲センサによる、セルフ検診サービスを展開。スマホで簡単に結果確認ができ、日常の健康管理を支援します。

透明電極タッチセンサパネルの展開



LED実装基板＝PETフィルム



PETフィルムへの低温はんだ実装



- ・スクリーン印刷で透明電極を構成
- ・透明な電極の為、スイッチ全体の照光が可能
- ・電極基板だけでなく、照光基板もPETフィルムで対応可能な為、意匠面デザインの曲面化など柔軟に対応することが可能



炊飯器などに展開しているが、その他の家電製品や自動車関係へも展開したい

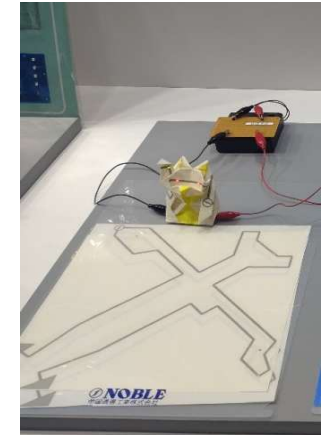
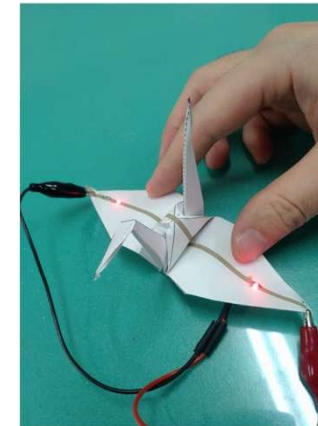
環境に配慮した素材/工法への取り組み（電子回路基板に紙を使用できるかチャレンジ）

1. 基材 : 「PETシート」（石油由来）でなく 「紙」（植物由来）
2. パターン : スクリーン印刷で電極を形成 ⇒ エッチング工法に比べて廃液が少なく、環境にやさしい
3. 実装 : 低温はんだを使用 ⇒ 融点が低いため耐熱性の低い部品の接合が可能
また、一般的なはんだに比べてCO2排出量が少ない(約3割削減)

チャレンジの結果

- 紙上に電子回路を印刷してもパターンを維持できた
- 紙上にLEDを実装できた
- 折り曲げてでも断線しない事が確認できた

折り紙に展開



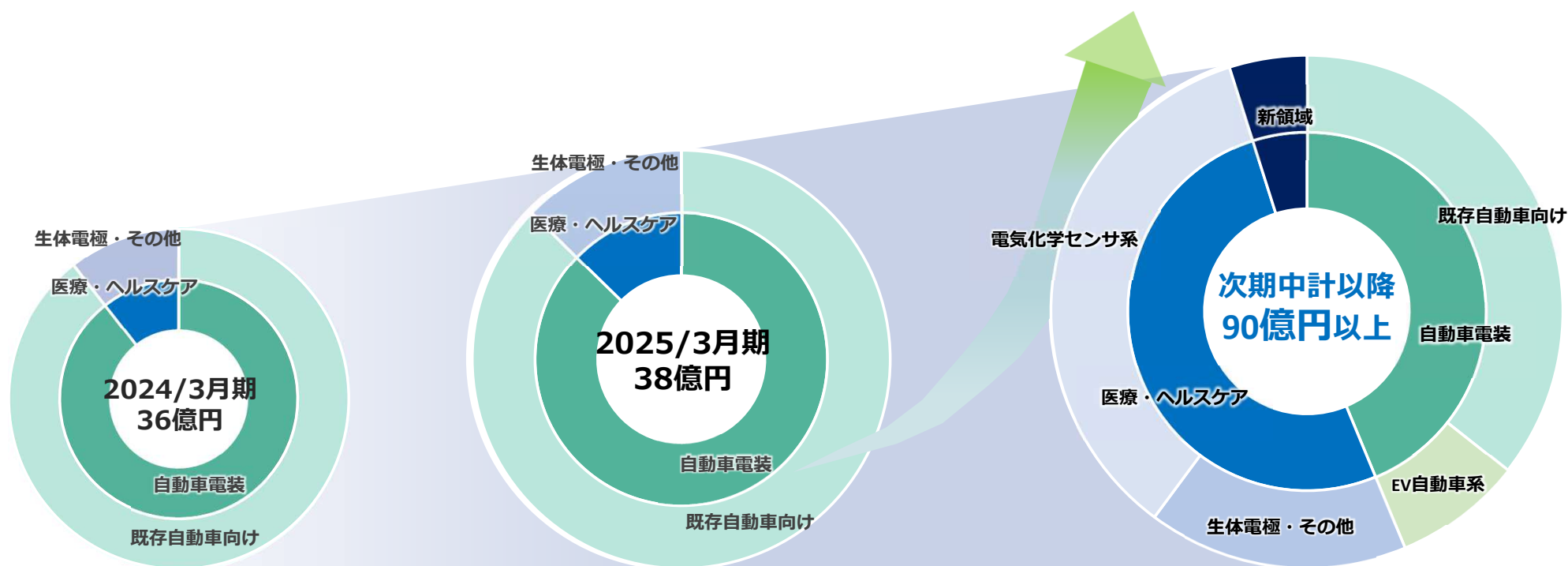
事業成長のための研究開発と投資－成長領域目標（次期中計以降）

Together, we make good sense.



- エレメント技術を基に、自動車電装／医療・ヘルスケアなどの新領域での成長を加速させる

自動車電装・医療ヘルスケア・新領域で目指す規模



事業成長のための研究開発と投資－設備投資拡充①

Together, we make good sense.

NOBLE

- 新市場への展開に向け、高度化・多様化するお客様ニーズに応えるべく環境に配慮した「モノづくり」体制の高度化を行う

赤穂
工場
・
本社



生産工場への積極的な投資

- ・ 新市場へ向けた新棟建設
- ・ クリーン環境での生産体制
- ・ 独自印刷技術のさらなる高度化
- ・ 品質管理体制の強化

エレメント技術の深化

- ・ 新たな市場への展開
- ・ 医療・ヘルスケア市場の拡大
- ・ アミューズメント市場の拡大
- ・ 高性能、高寿命、高品質のレベルアップ

自動車分野

自動車市場における
EV化への対応

医療・ヘルスケア分野

健康増進に向けた
予防医療への対応

チャレンジ分野

防災等社会課題解決に向けた
インフラビジネスへの対応

事業成長のための研究開発と投資－設備投資拡充②

Together, we make good sense.

NOBLE

- 既存工場の建物を活かすためのインフラ整備投資として

ノーブルエレクトロニクスタイランド



投資予定額：
67百万バーツ
(日本円約3億円)

組立エリア拡張

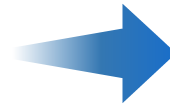
- ・ 資材倉庫の統合
- ・ 再配置倉庫跡地のクリーンルーム化（組立エリア化）
- ・ 動線を考慮した機器配置の見直し
- ・ レイアウト変更に伴う設備移設
- ・ 内装工事空調・照明・配線等インフラの整備見直し



- ・ 工場内レイアウト見直しに伴う生産効率向上
- ・ お客様のご要求に応えられる生産キャパシティ拡大（約1.5倍）
- ・ 高精度製品生産のためのクリーンルームの拡充

生産工場における取組み

- 紙で管理している作業手順書・品質記録を情報共有目的でデータ化
- 改善活動に活かすための生産の実績データ化
- ベテラン従業員の技術継承を目的としたノウハウの動画保存



タブレットを用いて可視化を容易に

- 電子化された手順書・品質情報をクラウド共有
製品仕様書のQRコード管理
→ **生産性向上（作業時間短縮、ミス削減）**
- 製造実績の自動収集・分析
→ **品質安定化（リアルタイムフィードバック）**
- 作業手順動画・教育コンテンツの整備
→ **教育効率化（新人教育の標準化）**



**IoT活用により、生産性、品質、
教育の向上を実現**

新たなビルの設計思想「サステナビリティを体現する本社」

●戦力増強×人財投資

「研究開発機能＋本社機能のコラボレーション」

- ・ 知財・技術を集結させた開発の拠点
- ・ 未来のNOBLEグループへの人財育成の拠点

●業務効率化×働く環境

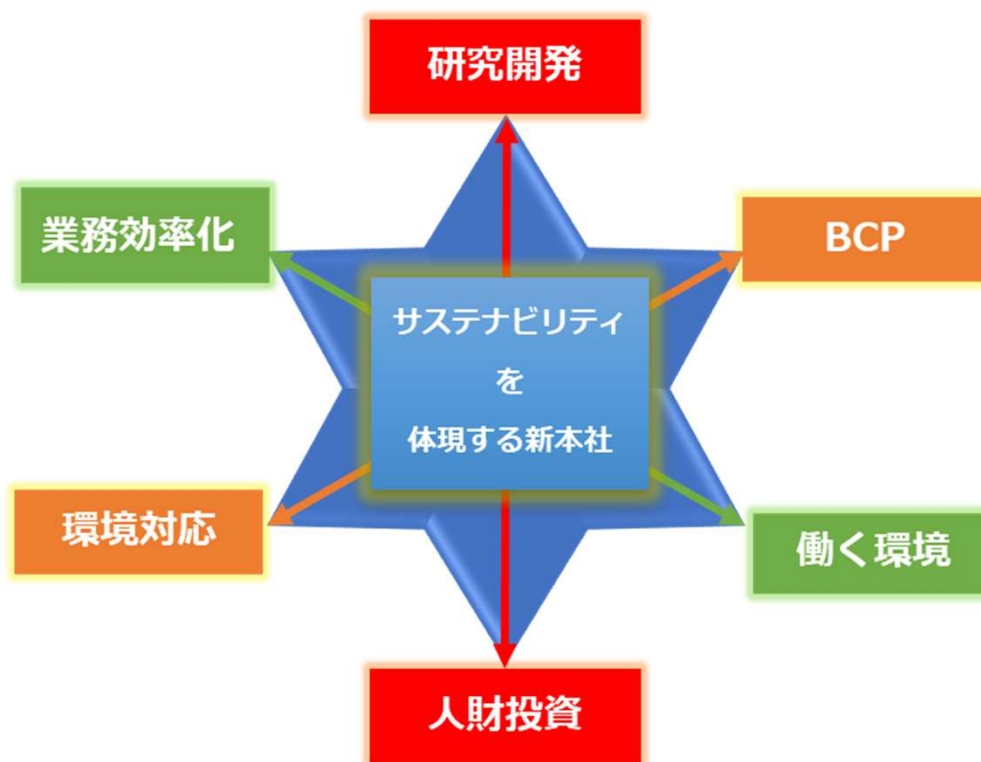
「進化と深化と変化のMIX」

- ・ 本社建物11棟⇒1棟による効率的な導線の確保
- ・ 快適・快活・快コミュな職場環境の実現

●環境対応×BCP

「企業と環境の共存」

- ・ 省エネ・緑地確保による脱炭素社会への加速
- ・ 防災（自然災害）・防サイ（サイバー攻撃）の拠点



計画概要

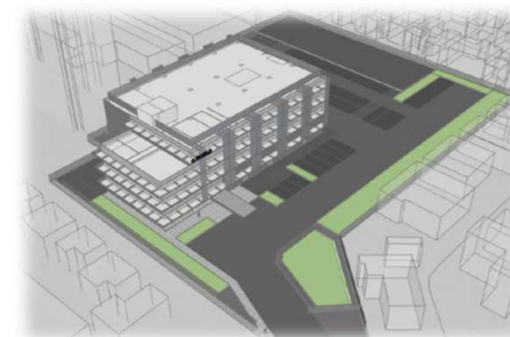
- 竣工予定年月 : 2028年春（新本社ビル完成）
- 建築用途 : 研究開発機能と本社機能の複合施設
- 規模 : 建築面積約2,000㎡
- 構造 : 鉄骨造4階建
- 延床面積 : 約7,200㎡
- 主な性能 : 省エネ対応 ZEB Ready相当を目標とする※1
耐震基準 保有水平耐力1.25以上※2
- ※1.基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減
- ※2.震度7クラスの地震が発生した場合においても人命の安全が確保でき、
補修を行うことで継続して建物を使用することが可能な耐震性能



完成イメージ

移転・建替えスケジュール

- ・第1次解体工事 : 2025年夏 (完了)
- ・本社新築工事 : 2026年春～2028年春
- ・第2次解体工事 : 2028年春～2029年春



6 : サステナビリティ

サステナビリティ－基本方針、気候変動

Together, we make good sense.

NOBLE

サステナビリティに関する考え方

当社グループは、社会的責任を果たし、事業の持続可能な成長を目指すために従来の「CSR基本方針」を「サステナビリティ方針」へと発展させ、地球環境に対する負荷の最小化、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

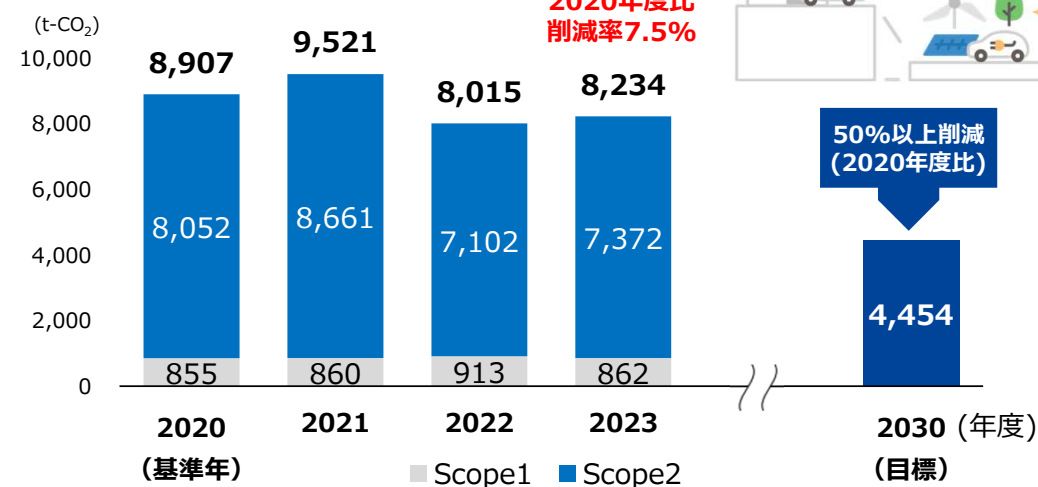
気候変動に対する取組み方針（TCFD提言への対応）を策定

当社グループはサステナビリティ経営の一環として「気候変動に対する取組み」を最重要課題の一つと捉えております。

その取組みとして、脱炭素社会の実現に向け2030年度までにScope1及びScope2の温室効果ガス排出量を2020年度比で50%以上削減し、2050年度までにカーボンニュートラルを達成することを目標としています。

加えて、再生可能エネルギー電力の導入を推進し、2030年度までにその比率を100%とすることを目指しています。

● 温室効果ガス排出量（Scope1,2）の推移と削減目標



人的投資と社内環境整備に関する方針

当社グループは、人権を尊重し、人種・国籍・性別・信仰・信条・心身障がい等を理由とする差別やセクシャルハラスメント、パワーハラスメント等の嫌がらせのない健全な職場環境を確保し、多様な人材が十分にその能力を発揮できる職場環境整備に努め、グローバルフィールドで活躍できる人材の育成に積極的に取り組んでいきます。

●教育研修の提供

従業員が自身の知識や能力を磨いて、成長へとつなげられるよう公平かつ平等な教育研修の機会を提供して、人材育成に向け更なる拡充・拡大を目指しております。

階層別教育カリキュラムの充実

- ・新入社員研修
- ・フォローアップ研修
- ・コアスキル研修
- ・新任リーダー研修
- ・新任マネジメント研修
- ・次世代幹部育成研修



Eラーニングを利用したベース研修

- ・公平かつ平等な教育研修の機会を提供

●目指すべき人材像

グループ全体の行動指針として掲げる『**3つのC**』を主軸に置き、下記の人材を目指すべき人材像としています。



Change

(未来に向かって革新できる人材)

Challenge

(現状に満足することなく前進していく人材)

Communicate

(質の高いコミュニケーション能力を有した人材)

サステナビリティー社会貢献事例①

東海エレクトロニクス株式会社様（名古屋市）にて開催された小学生向けロボットコンテストに「折り紙」を出展

【当社出展】



**目が光る！
ティラノサウルス**

Together, we make good sense.
① NOBLE
帝国通信工業株式会社

80th ANNIVERSARY
1942 E 2024

まるで魔法！！「折り紙を使った電子工作」

どうやってできるの？

**折り紙に
電気回路を印刷**

普通のペンでは電気は流れないけど**特別なインク**で紙の上に電気の道を作るよ！！

**低温はんだで
LEDを付ける**

低温はんだは普通のはんだより低い温度で溶けるから紙を焦がさずにLEDをくっつけられる！

帝国通信工業株式会社
TEL 044-879-2000
FAX 044-871-5102
E-mail: marketing@noble-cs.jp
URL: <http://www.noble-cs.jp>

折り紙電極：

電子回路を印刷した折り紙に特別なインクでLEDを実装したティラノサウルス折り紙キット（LED（恐竜の目）を光らせる）



参加した小学生に当社製作の折り紙電極キットを配布しました。

サステナビリティー社会貢献事例②

Together, we make good sense.

NOBLE

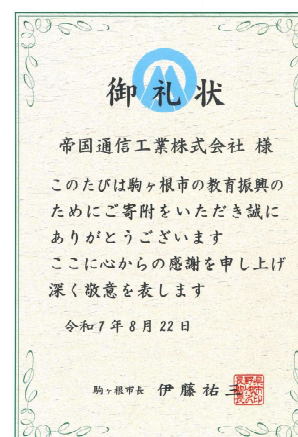
赤穂工場 80 周年にあたって、地元長野県駒ヶ根市に寄付を行い、地元の関係者を招いて赤穂工場敷地内で納涼祭を行いました。

【寄附贈呈と記念撮影】

80年間事業を支え温かく見守ってくださった駒ヶ根市民の皆様のため、地域社会に貢献できないか考え、未来を担う子供たちの教育を支援したいという思いから、寄付という形で感謝の気持ちを贈らせていただきました



【納涼祭風景】



IR情報

Together, we make good sense.

 **NOBLE**



帝国通信工業株式会社ホームページ



[IR 情報 | 帝国通信工業株式会社 \(noble-j.co.jp\)](https://noble-j.co.jp)

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ」など、
その他情報は弊社ホームページをご覧ください

さあ、NOBLEと実現しよう。

Together, we make good sense.



本資料に記載されている将来の業績見通し及び予測につきましては資料作成時点における当社の判断によるものであり、外部環境の変化に伴う潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。そのため、様々な要因による経営環境の変化に伴い、実績が本資料に記載された見通し等と大きく異なる可能性があります。

お問合せ先：	帝国通信工業株式会社 経理室
TEL:	044-422-3831
E-Mail:	ir-info@ho.noble-j.co.jp
URL:	https://www.noble-j.co.jp/